

科目名	特殊講義（シンガポール地域研究）	科目コード	1575	単位数	2
担当者名	坂口 可奈	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	到達目標	C,F	実務経験	無
ナンバリング	DSp403	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

シンガポールは、独立時には国としての生存を危ぶまれながらも、世界有数の一人当たりGDPを誇る国へと成長した。学生諸君の間ではよく知られた国ではないかもしれないが、日本や世界が学ぶべき点を多く持つ国家である。そこで、本講義ではシンガポールの諸政策を分析することで、経済発展の背景と「経済発展に成功した国」の課題と生き残り戦略を学ぶ。また、個々の政策だけでなく「観光地の背景」を学ぶことで、「シンガポールを学ぶ、シンガポールから学ぶ、シンガポールを通して学ぶ」という姿勢を身につける。

● 到達目標

- ・シンガポールについての基礎知識を身に付けること
- ・シンガポールについての学習を通して、物事を多角的に、そして幅広い視野で考察できるようになること

● 授業内容

- 1週目 イントロダクション
- 2週目 観光地から見るシンガポール（チャイナタウンなど）
- 3週目 料理から見るシンガポール
- 4週目 シンガプーラからシンガポールへ
- 5週目 昭南島時代 学内アクセスポイント使用予定
- 6週目 リー・クアンユーの国作り（言語政策と教育政策、民族政策）
- 7週目 リー・クアンユーの国作り（経済政策）
- 8週目 リー・クアンユーの国作り（政治体制）
- 9週目 観光地から見るシンガポール（マリーナ・バラッジなど）
- 10週目 社会保障政策
- 11週目 移民政策
- 12週目 観光地から見るシンガポール（セントーサ島など）
- 13週目 対外政策
- 14週目 北海道とシンガポール
- 15週目 現代シンガポールの諸問題
- 16週目 今後の学習に向けて（ただしやむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講を行う）

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 予習：1、毎日、新聞の国際欄を読んで自分なりの見解をメモしておくこと
 2、事前に指定する課題に取り組むこと（1と2を合わせて2時間程度）
 復習：各自授業内容をノートにまとめること（1時間程度）

● 成績評価の方法・基準

- 期末レポート70%
 リアクションペーパー30%

● 履修上の留意点

- 1、許可のないかぎり、授業中にスマートフォン等は使用しないこと
- 2、出席登録後は授業終了まで退出は認めない
- 3、適宜グループ・ディスカッションやグループ・ワークを行う。受講生諸君の積極的な発言を期待する。
- 4、国際社会と安全保障AB、地域研究（東南アジア）を履修済であることが望ましい

● 課題に対するフィードバックの方法

毎週の授業冒頭に、前週に課した課題に対してのフィードバックを口頭で行う
 レポートに対してのフィードバックは最終授業の際に行う

● テキスト

特になし。レジュメを配布する。

● 参考書

坂口可奈『シンガポールの奇跡 発展の秘訣と新たな課題』（早稲田大学出版）3500円

● 更新日付

2024/02/10 04:20